

## 羽根飾りをつけた友達をこよなく愛するマーガレット・アトウッド

著名なカナダ人女流作家 Margaret Atwood (マーガレット・アトウッド) 女史は、鳥をこよなく愛しています。彼女は、この 16 年間毎年、Pelee Island Bird Observatory (ペリー島鳥類観測所) のため資金集めのパーティーを主催しています。

その名も「**Springsong** (春の歌)」は、毎年、母の日の週末に、ペリー島で開催されます。パーティーでは最初に、参加者が観察した鳥の種数を競う催しから始まります。今年の勝者は 24 時間で 108 種記録しました。授与式は、200 名ほどが参加する宴会の席で行われます。この宴会にマーガレットはいつも、作家を一人招待し、朗読してもらいます。今年は、ニューファンドランドの作家 Michael Crummey (マイケル・クラミー) 氏でした。

この一夜の全ては厳粛なものではなく、マーガレットを中心に楽しく過ごす居心地のよい一晩です。彼女は、キーキー鳴くニワトリのおもちゃを参加者に配り、「鶏の合唱団」に参加してもらいます。マーガレットは、「オールドマクドナルドがニワトリを飼っていました」などの威勢の良い演奏に合わせて、コーラスを先導します。

彼女は、先月開催された **Springsong** の翌日、ペリー島の本屋 **Book House Writers' Retreat** でインタビューを受けました。その中で、「私と鳥との関係は小学 1 年生の頃にさかのぼります。私の父は生物学者で、生き物と一緒に成長してきました」と述べています。また、彼女の夫である **Graham Gibson** (グラハム・ギブソン) 氏について彼女は、「彼は他の分野から自然保護の分野に移ってきました<sup>1</sup>。皆さんもご存知かと思いますが、このような方たちは皆、より熱心に物事に取り組みます。彼にとっても、たくさんの鳥との関わりが、彼の原動力になっています」と、答えています。

ギブソン氏はペリー島鳥類観測所の所長をしており、マーガレットもまた理事に就任しています。エリー湖最大の島であるペリー島は、カナダ最南端に位置しており、ペリー島鳥類観測所やカナダ、アメリカなどの研究機関が追跡した結果、渡り鳥の中継地として重要であることがわかっています。

「これらの組織が、データを蓄積することにより、どの種が増減しているか検討することができます。」と、マーガレットは述べています。また、この島にどの種が繁殖しているかを明らかにするための営巣調査も行われています。

彼女の鳥や鳥の保全に関する懸念は、グラフィック小説「**Angel Catbird**」につづられており、これまで第 2 巻まで発行されています。そして今年 7 月には、第 3 巻「**The Catbird Roars**」が出版されます。

---

<sup>1</sup> 1996 年、作家から自然保護活動家へ転向

「私は9歳か10歳の頃から、私たちの最後の猫がなくなるまで、ずっと猫を飼ってきました。しかしある時、私たちは猫を飼うには歳をとりすぎていることに気が付きました。」それほど愛猫家のマーガレットですが、「猫は、北アメリカにおける渡り鳥の主要な天敵である。」と認識しています。しかし、「私は、愛猫家と対立したいわけではなく、猫や鳥の周りで、よりよい関係を作るために積極的に対話をしていきたいと願っています。」と、マーガレットは語っています。

[愛猫家であるマーガレットは、バードライフのパートナーであるネーチャー・カナダの‘猫と鳥’キャンペーンにも協力しています。キャンペーンの詳細は[こちら](#)]

彼女は人々が、鳥や保全に関心を持つべきだと固く信じており、「もし、人々が関心を持たなければ、やがて海や重要な土壌も失われてしまうかもしれません。」と述べています。彼女は科学的な説明を「昔々・・・」と始めました。

「19億年前、地球上の大気のほとんどはメタンで構成されていました。そのような大気の下では、酸素呼吸をする生き物は生存できませんでした。しかし、藍藻類の出現により状況は変化しました。現在でも、ストロマトライトという化石の中に藍藻類が生息していますが、彼らは水をH（水素）とO（酸素）に分けることにより酸素で満たされた環境を作りだしました。他の植物も酸素を作り出しますが、海洋の藻類が作り出す酸素レベルを維持するだけの十分な量の酸素は作ることができません。つまり、他の全ての植物がなくなると私たちにとって深刻な事態となるでしょうが、海洋藻類がなくなれば生きることすらできなくなってしまいます。」

このことは、鳥と何の関係があるのでしょうか？彼女は続けます。

「海鳥が水面に糞をすることで、栄養塩が補給されます。その結果、海洋の藻類が増加します。」

また、彼女は、土壌は炭素が大気中に放出されないようにする炭素の貯蔵庫で、植物の生長を助けると説明しています。無機栽培の農業によって、鳥の餌となる虫と共に「土壌が殺されている」と述べています。

更に、「鳥、特に渡り鳥は異常を早期に発見するレーダーの役割を果たしています。鳥の生息地や環境でなにか悪いことが起こった場合、個体数が減少していきます。それが、警鐘となります。」「保全に関心のある人は皆、システムに興味があります。だから保全に関心のある誰もが、全ては繋がっていることを知っています。あなたがシステムの何かに影響を与えると、他の全てのことに影響を及ぼすことが理解できるでしょう。」

これが、要するに、私たちが鳥を大切にしなければならない所以です。